2027年度PMからのメッセージ

氏名・所属：岡 瑞起（千葉工業大学 デザイン＆サイエンス研究科 研究科長・教授）



専門分野：人工生命

略歴：

2008年 筑波大学大学院システム情報工学研究科博士課程修了
博士（工学）
2008～2013年 東京大学 知の構造化センター 特任研究員
2013年 筑波大学 システム情報系 助教
2015年 筑波大学 システム情報系 准教授
2025年 千葉工業大学 変革センター 主席研究員
2026年 千葉工業大学 デザイン＆サイエンス研究科
研究科長・教授

メッセージ：

目的を定め、一直線に効率的に到達するように励む。そんな効率重視の価値観が AI 技術の発展によってさらに加速しています。しかし、本当にチャレンジングな課題には、一直線に解決へと至ることはほとんどありません。辿り着く方法の分からない課題に対しては、まず混沌とした中に飛び込んでチャレンジするしかありません。そして、その探索の過程で出会うセレンディピティをつなぎ合わせていくうちに、振り返ってみれば課題への解決策が見つかっているものです。

そんなチャレンジをサポートし、後押しするのが未踏事業です。もちろん、チャレンジしたいというその思いがあることが全ての出発点です。報われるかどうかわからないけれど、これを作りたい、作らずにはいられない、どうしても挑戦したい、そんな情熱を注げるテーマを持つクリエイターやエンジニアからの応募をお待ちしています。

審査基準：

1. 問いと動機　何を実現したいのか、なぜ自分が取り組むのかを、具体的な経験や問題意識とともに示してください。

2. 独自性　関連する技術・研究・サービスを踏まえ、何を新しく試すのかを示してください。性能だけでなく、使い方や体験、問いの新しさも評価します。

3. 実践と学び　試作・実験・調査など、自ら取り組んだことと、そこから得た学びを示してください。失敗から考えを深めた過程も重視します。

4. 挑戦の核心と検証　最も難しい点や未知の点を明らかにし、期間中に何を作り、どのような結果から有効性や限界を判断するかを示してください。

5. 発展性と柔軟性　成果が誰にどのような変化や新しい可能性をもたらすかを示してください。予想外の発見から問いや方法を見直す姿勢も重視します。

申請時点での完成や成功の保証は求めません。現時点の根拠と、未知の課題に挑み、試行錯誤から学ぶ力を評価します。